

「国土のモニタリング」及びモニタリングシステム類似事例について

第1部 現行の「国土のモニタリング」システムについて

1. これまでの「国土のモニタリング」に関する検討過程
2. 現行の「国土のモニタリング」システムについて

第2部 モニタリングシステム類似事例について

3. モニタリング類似事例について
4. 各省庁の行政評価の取り組み
5. 国土交通省の行政評価の取り組み
6. 農林水産省の行政評価の取り組み
7. 三重県の行政評価の取り組み
8. 暮らしの改革指数(LRI)について
9. ESPONについて
10. ESPONの公開ルール(ESPON Data Base)
11. ESPONの公開ルール(ESPON Data Navigator)
12. ESPONの公開情報(ESPON Web-GIS)
13. ESPONの公開情報網(ESPON HyperAtlas)
14. 総務省統計局 統計データ
15. 総務省統計局 統計データ(地図情報)
16. 総務省統計局 統計GISプラザ
17. 国土交通省国土地理院 地図情報

第3部 「国土のモニタリング」について

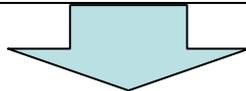
18. 国土形成計画[全国計画](素案)における「国土のモニタリング」
19. 「国土のモニタリング」の目的
20. 「国土のモニタリング」における検討課題

これまでの「国土のモニタリング」に関する検討過程

平成14年度研究会の提言に基づき、現在WEB上で「国土のモニタリング」が運用されている。

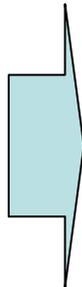
国土審議会基本政策部会報告(平成14年11月)における提言

- ・国土計画の関係主体への指針性を向上するために、国土計画を目標管理型の成果とし、策定、推進、評価のプロセスを通じて、効率的、効果的な進行管理を行う『国土計画のマネジメントサイクル』の確立を目指す。
- ・「上記の計画評価等を遂行するために、国土をめぐる経済社会諸情勢、土地利用、自然環境状況、国土基盤のストックの状況、関連諸施策の推進状況、その効果等に関する状況を常時収集・分析し、その成果を、GIS等のICT技術をも活用し、国の各行政部、地方公共団体はもとより、広く国民に公開・提供する。



「国土のモニタリング」研究会 (平成14年7月～15年6月)

今後実施すべき「国土のモニタリング」の項目、視点、指標例を検討した。また、「国土のモニタリング」計画案をとりまとめ、「国土のモニタリング」の実施と分析を行った。



「国土のモニタリング」の運用開始

現在では、14の視点から166個の指標により「国土のモニタリング」を実施している。また、その内容をホームページで公開している。

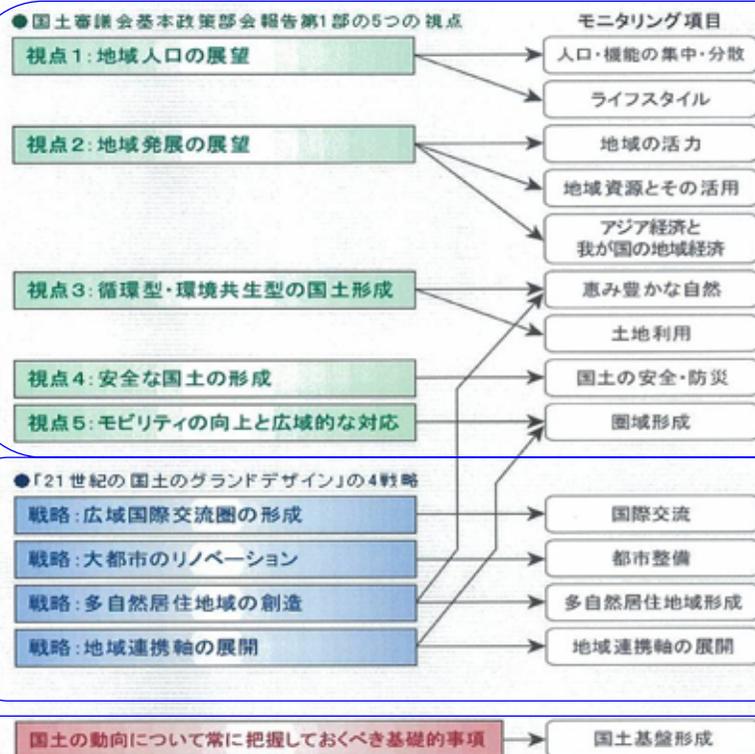


現行の「国土のモニタリング」システムについて

現行の「国土のモニタリング」は、新たな計画課題の発見、前国土計画の取り組みの進捗管理、国土情報の定常的な管理、の3つの目的に対応した14の視点と166の指標により実施している。

現行の「国土のモニタリング」対象

図：モニタリング項目の抽出の主な流れ



新たな
計画課題
の発見

前国土計画
の取り組みの
進捗管理

国土情報の
定常的な管理

課題

時点修正が必要

- ・ 新たな国土計画(全国計画)による戦略的取組みに対応したモニタリング

わかりやすさの追求が必要

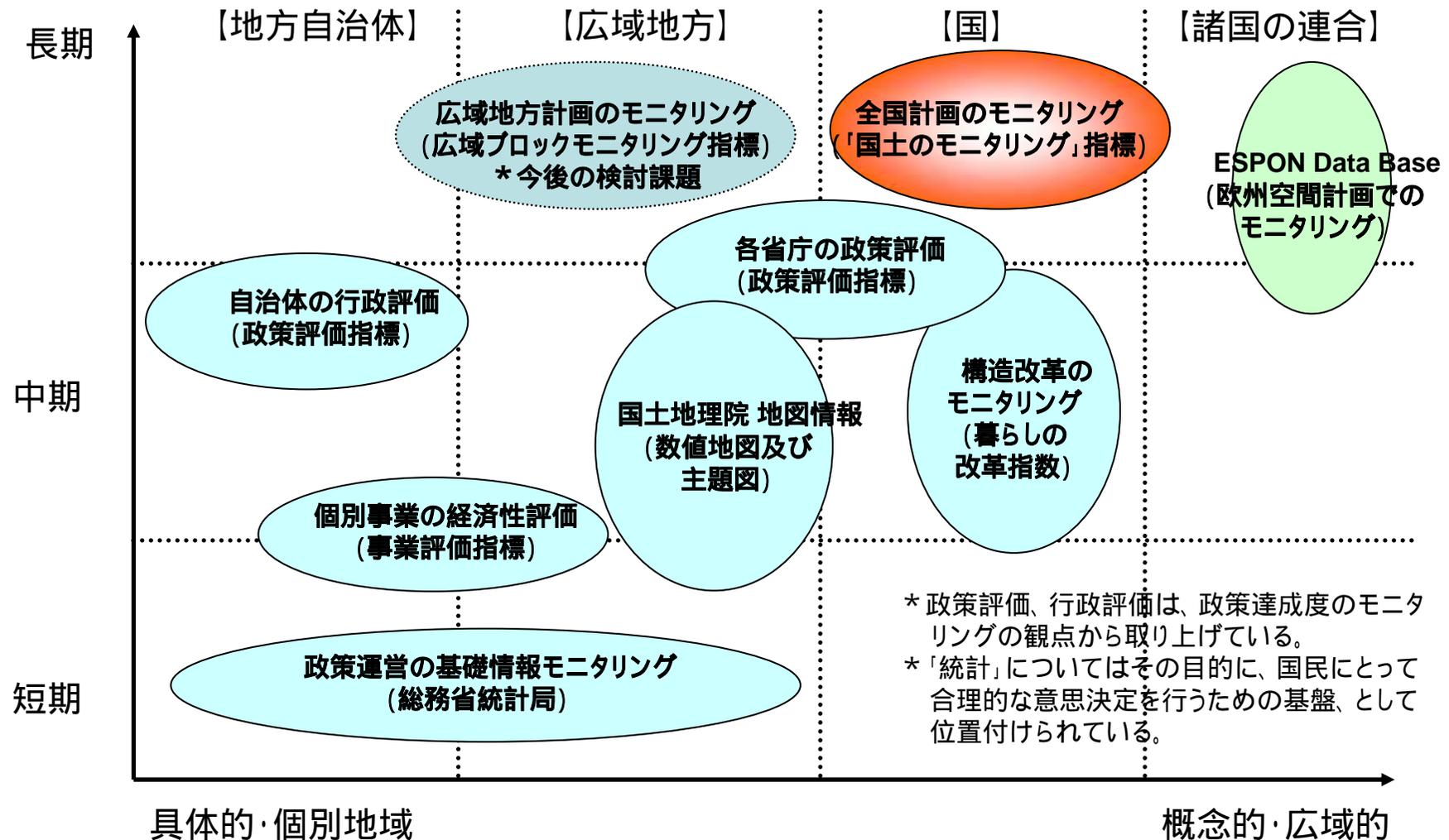
- ・ わかりやすい指標の工夫が必要
- ・ 見せ方の工夫が必要
(地図情報、動画情報等)

国民の参画と協働が必要

- ・ 具体的な方法・手段の検討

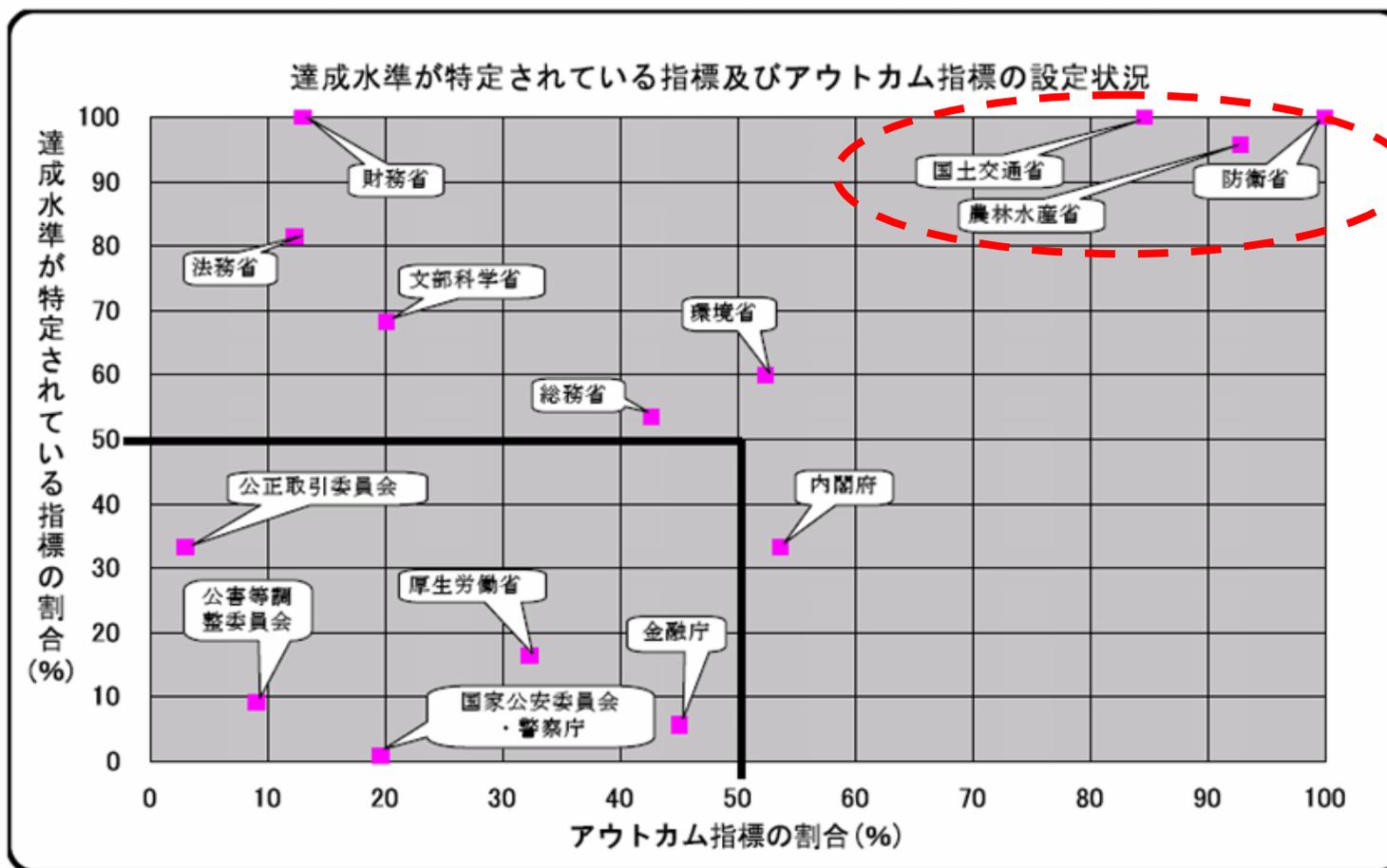
モニタリング類似事例について

モニタリングは空間・時間・目的の異なるレベルでそれぞれに実施されている。
 国土形成計画(全国計画)のモニタリングは、全国的 - 長期的なモニタリングに位置付けられる。



事例 各省庁の政策評価の取り組み

国土交通省、農林水産省、防衛省は達成水準が特定されている指標やアウトカム指標の割合が多く、他の省庁と比べて定量的な行政評価を行っている。



(出典) 政策評価の点検結果 評価の実効性の向上に向けて [資料編]
平成19年3月 総務省行政評価局

事例 -1 国土交通省の政策評価の取り組み

国土交通省の政策評価システム

政策アセスメント
(新規事業の評価)

政策チェックアップ
(政策目標の評価)

政策レビュー
(テーマ別の評価)

個別公共事業評価・
研究開発評価

政策チェックアップ

STEP1 業績指標・目標値の設定

- ・27の政策目標
- ・目標達成度合いを表す143の業績指標
(全ての目標水準が数量化等により特定)
- ・指標に関する今後5年間の目標値を設定
(目標・指標の設定の際には、パブリック・コメントを行い、国民の意見を反映)

STEP2 業績指標の測定・評価

- ・毎年度、それぞれの業績指標の測定
- ・目標値に対する達成状況の評価。
- ・目標が達成されていない場合、要因(外部要因も含む)や対策を検討。

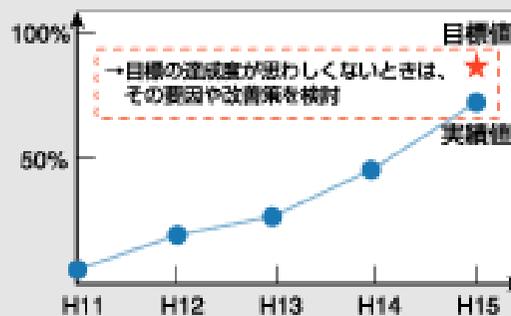
今後の課題 (実績評価方式による評価)

国民への説明責任を推進する観点から、目標の達成度合いの判定が客観的なものと言えるように、目標の達成度合いの判定方法(判定基準)をあらかじめ具体的で明確なものとして示すことが必要である。

政策目標・業績指標の例

| 分野 | 政策目標 | 業績指標:例 | 目標設定時の値 (年度) | 目標値 (年度) |
|-----|----------------------------|--------------------|-----------------|--------------|
| 暮らし | バリアフリー社会の実現 | 住宅のバリアフリー化の割合 | 2.7% (H10) | 約1割 (H19) |
| 安全 | 水害等による被害の軽減 | 洪水による氾濫から守られる区域の割合 | 58% (H14) | 62% (H19) |
| 環境 | 大気・騒音等に係る生活環境の改善 | 航空機騒音に係る環境基準の国内達成率 | 93% (H12) | 95% (H18) |
| 活力 | 国際的な水準の交通サービスや国際競争力等の確保・強化 | 拠点的な空港・港湾への道路アクセス率 | 59% (H14) | 68% (H19) |

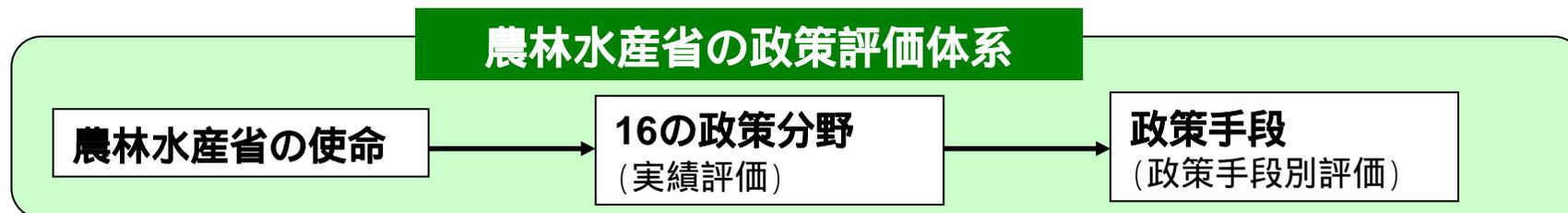
目標の達成状況の測定・評価



(出典)国土交通省ホームページ

目標値の設定は、
社会資本重点整備計画
における目標値と整合。

事例 -2 農林水産省の政策評価の取り組み



実績評価

STEP1 業績指標・目標値の設定

- ・16の政策分野別目標
- ・目標達成度合いを表す70の業績指標
- ・指標に関する目標値を毎年設定

STEP2 業績指標の測定・評価

毎年度、それぞれの業績指標の測定を行い、目標値に対する達成状況を評価。達成度はA、B、Cの3段階で評価。
(A:目標の90%達成、B:50~90%、C:50%未満)

政策目標・指標・目標値、および実績例

注1 基準値及び目標値の欄の()数字はその対象となる年度である
注2 黒字=定量的目標(①)/白ヌキ字=定性的目標(②)

| 分野名 | 指標 | 基準値 | 目標値 | 17年度実績 | ランク |
|-------------|--|---|---------|--------|-----|
| 食品産業の競争力の強化 | | | | | |
| ① | 国内農業者等と契約による原料調達を行っている食品製造業者(事業所)の割合 | 48.9%(16末) | 60%(22) | 55.5% | A |
| ② | 卸売市場の整備や、ユビキタス・コンピューティング、電子商取引の活用など先進モデルの提示等を通じた食品流通の効率化 労働生産性の向上等に関する指標値が実績を上回るかどうかを基本としつつ、景気や需給等の動向を踏まえ総合的に判断する | 達成状況 | | | |
| | | 食品流通の効率化については基本的な指標をみると、食品卸売業では労働生産性の向上がみられたが、食品小売業では労働生産性の向上がみられなかった | | | |

(出典)農林水産省政策評価結果の概要 (平成17年度政策の実績評価結果) H18.7

今後の課題

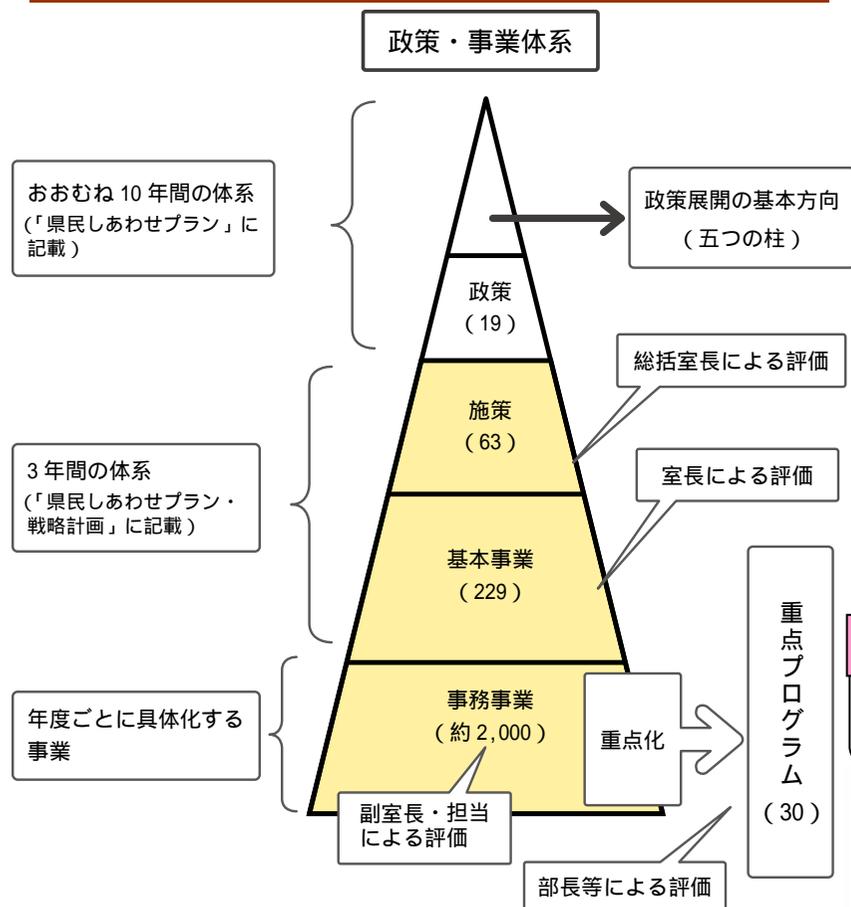
政策手段別評価において、当該政策手段により得ようとした効果を明確にすることについて改善が図られており、今後もこの取組が進められることが期待される。

(出典)政策評価の点検結果 評価の実効性の向上に向けて [資料編]平成19年3月 総務省行政評価局

事例 三重県の行政評価の取り組み

自治体では、身近な事務事業評価の導入から行政全体のマネジメントシステムに発展させている。

みえ政策評価システムの構成



STEP1 業績指標・目標値の設定

- ・19の政策目標
- ・一つの政策目標に対し一つの評価指標
- ・施策を構成する複数の基本事業も、**全て数値目標を設定**、達成度調査し達成できなかった場合の問題を把握
- ・指標に関する目標値を**毎年設定**

STEP2 業績指標の測定・評価

- ・**毎年度**、それぞれの業績指標の測定
- ・目標値に対する**達成状況**を評価。
- ・目標が達成されていない場合、**要因**や**対策**を検討。
- ・達成度を**数値化できない目標は全てアンケートにより定量化**

業績指標・目標値・実績値の例

施策目標: NPOが、ネットワークを形成し、他の主体とも協働しながら地域づくり活動を行う。

【数値目標の達成状況】※第一次戦略計画の施策

| 目標項目 | 2004 | 2005 | 2006 | 達成状況 |
|-----------------------------|------------|------------|------------|------|
| | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | |
| 行政(市町村・県)から市民への移行事業数[施策521] | 40事業 | 50事業 | 80事業 | ☆☆☆ |
| | 41事業 | 63事業 | 82事業 | |

注) ☆☆☆: 達成 ☆☆: 未達成(前年度より改善) ☆: 未達成(前年度と同じまたは悪化)

(出典) 三重県ホームページ

<http://www.pref.mie.jp/GYOUSEI/plan/hyouka/system/p02.htm>

事例 構造改革のモニタリング(暮らしの改革指数(LRI)について)

構造改革の進展と国民の満足度に関する指標としてLRIの取り組みがある。

暮らしの改革指数の概要

作成主体：内閣府(国民生活審議会総合企画部会)
 目的：構造改革の進展度調査
 指標概要：構造改革の目指す9つの側面を個別指標を分解し、再度それらを総合化した指標。
 個別指標は、各指標の1990年の値を基準年として、変化率を累計した値。

特徴 総合化指標

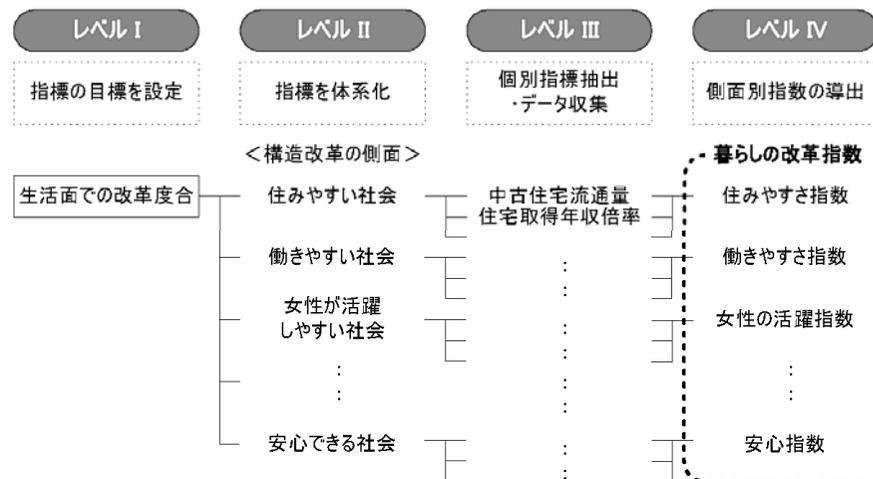
・1つの値だけで構造改革が進展しているかを示す。

特徴 標準化指標

・個別指標は、それぞれの指標の値を1990年から2001年までの各年の変化率の絶対値の平均が1となるように変化率を標準化している。

・内閣府「選好度調査」の満足度を主成分分析し、その要素と、構造改革の示す9つの側面が整合していることを検証している。

暮らしの改革指数の体系



構造改革の側面と個別指標

| 構造改革の側面 | 関連施策(評価のポイント) | 個別指標 |
|---------|----------------------------------|--|
| 住みやすい社会 | 住宅市場の整備 | 中古住宅流通量(+) |
| | 職住近接 | 通勤通学平均時間(-) |
| | 住宅取得 | 新築住宅1戸当たり床面積(+) 持家取得年収倍率(-) |
| 働きやすい社会 | 就労の多様化・流動化 | 裁量労働制採用企業割合(+) |
| | 起業支援 | 大学発ベンチャー数(+) |
| | ゆとり | 完全週休二日制採用企業割合(+) |
| | セーフティネット | 公共職業安定紹介所の就職件数(対有効求職者千人比)(+) 雇用環境 失業率(-) |
| 学びやすい社会 | 教育力の向上 | 教員1人当たり児童・生徒数(-) |
| | 自助努力支援 | 育英会奨学生採用数(学生生徒数に占める%)(+) |
| | 生涯学習の拡充 | 社会人特別選抜入学者数(大学・大学院入学者万人比)(+) |
| | 教員の多様化 | 特別非常勤講師数(小中高教員万人比)(+) |
| 教育環境 | 不登校による小中学校長期欠席児童・生徒数(児童生徒万人比)(-) | |

事例 -1 ESPON(欧州空間計画観測ネットワーク)について

・欧州には域内の地理的状况やEU政策の影響を分析する研究機関ネットワークが存在。

・欧州空間計画観測ネットワーク(ESPON : European Spatial Planning Observation Network)

目的: EU政策による影響・効果の分析、成果の政策形成への活用

内容: 調査テーマを決めてその実施機構を公募し、補助金を交付

体制: 監視委員会 (Monitoring Committee)

- ・加盟国政府の国土計画担当省庁の代表が参加
- ・調査テーマの決定、実施機関の選定

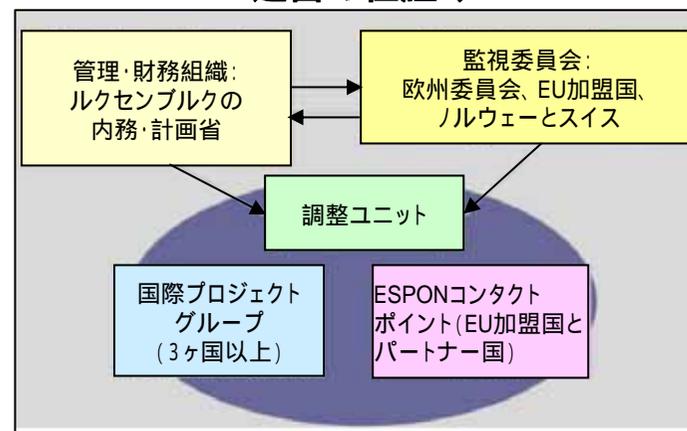
調整ユニット (Coordination Unit)

- ・進捗状況の管理、成果の確認

主な取り組み

- ・主要な空間開発テーマに関する研究
- ・政策影響研究
- ・テーマ横断的な研究
- ・研究成果の周知、研究ネットワークの形成
- ・技術面での支援

運営の仕組み



(出典) A Programme under Structural Funds Interreg III ESPON(2006.3)

特徴

- ・3ヶ国以上の多国籍チームであることが募集要件
- ・第1期は1,750万ユーロ(29億円)で34プロジェクトを実施
- ・マッピングツールの開発、セミナーの開催を重視
- ・今後は、研究成果を政策担当者に分かりやすく示していくことが課題
- ・学会ではなく、**EU主導で設立された組織**

事例 -2 ESPON Data Base (ESPONに登録されているデータ集)

・ヨーロッパ周辺諸国に関する19分野620指標の基礎データの一部を公開。

現段階ではESPONプログラムの参加者のみ閲覧・使用可能。

一般ユーザーは人口、GDPなどの一部データのみWEB上で入手可能。

概要(フルバージョン)

- ・約1900のデータレコード
- ・19分野620の指標
- ・指標数の主な内訳

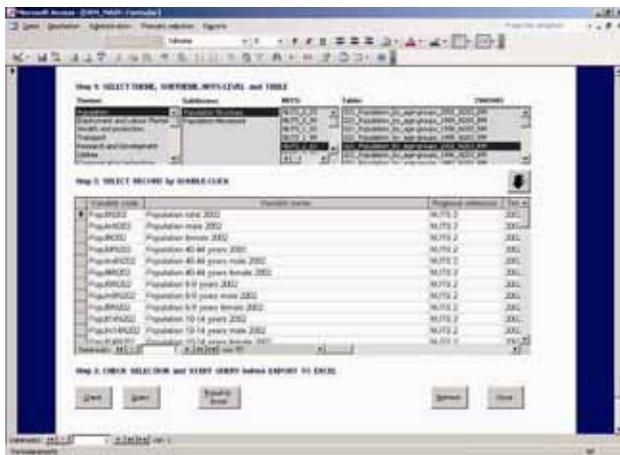
労働市場(25%)、空間タイポロジー¹⁾(17%)、人口(16%)、
交通(14%)

調査単位

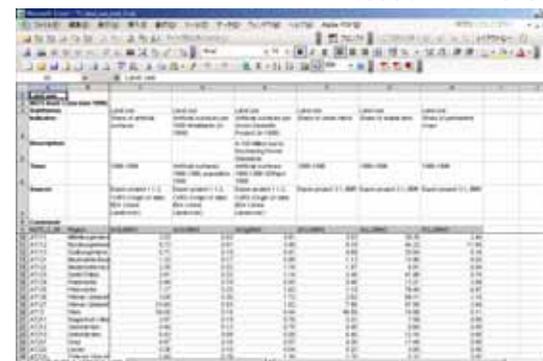
NUTS²⁾_0(国レベル)29、NUTS_3(県レベル)1329



一般ユーザーの指標選択画面



フルバージョン(Access)



一般ユーザーバージョン(Excel)

1) 地勢等による地域の類型分類：例、地震の危険度による地域分類等

2) NUTS: Nomenclature of Territorial Units for Statisticsの略で、欧州連合の統計で用いる区域の単位

事例 -3 ESPON Data Navigator(公開情報がどこにあるかをナビゲートするツール)

・ESPON Data Baseの調査機関の連絡先を公開。

検索分野

国:47ヶ国(EU諸国の他、バルト海や地中海周辺諸国を含む)

分野:19分野(農業、通信技術、文化、労働市場、企業と投資、環境、家庭に関する社会基盤、住宅、土地利用、人口、公共部門、研究開発、社会状況、空間タイポロジー、テレコミュニケーションと情報社会、旅行、交通、ライフライン、豊かさと生産)

調査単位:NUTS_0(国レベル)からNUTS_5までの6分野

The screenshot shows the ESPON Data Navigator interface. The search results are as follows:

| Country | Nomenclature | Source | Year/Periodicity | NUTS | Map |
|------------|---|--|----------------------|-----------------------|---|
| Belorussia | Administrative-territorial division of the republic | Ministry of Statistics and Analysis of the Republic of Belarus | as January 1, yearly | NUTS 2, NUTS 3, LAU 2 | Atlas ""Look at Belarus"", Administrative Map (1:2500000) / printed |
| Belorussia | Planning division (functional regions) | Ministry of Architecture and Construction of the Republic of Belarus | 1986, 2000 | NUTS 3 | Schemes in the National Plan of Spatial Development of the Republic of Belarus: Planning division of Belarus (in Russian) |
| Belorussia | Planning division (functional regions) | Ministry of Architecture and Construction of the Republic of Belarus | 1998, 2005, 2015 | NUTS 3 | Schemes in the National Plan of Spatial Development of the Republic of Belarus: |

事例 -4 ESPON Web-GIS (誰もがインターネットを通じてGISの操作体験をできるツール)

・Web上のGISで、ESPON Data baseを活用した地域分類図が作成できる

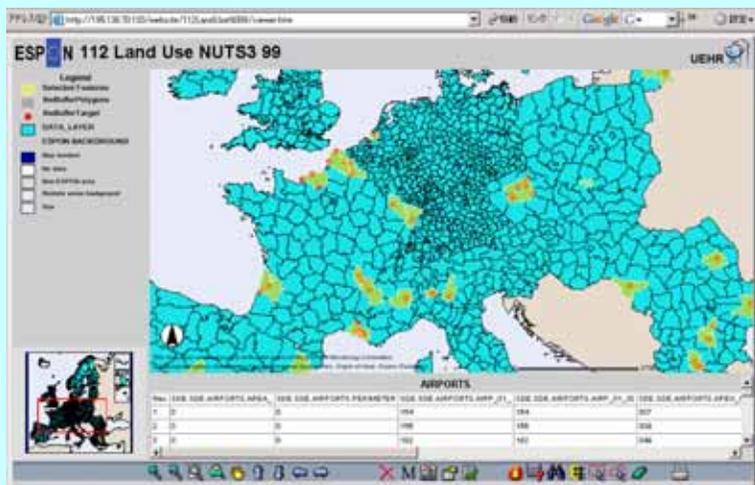
「Interactive Mapping Analysis」と「Interactive Statistical Analysis」の2つのツールから構成

「Interactive Mapping Analysis」の主な機能
18のカテゴリーからなる多様な**指標による分類図**が作成できる。

交通インフラ(鉄道、空港等)と分類図の重ね図が作成できる。

指標毎に空間検索ができる。

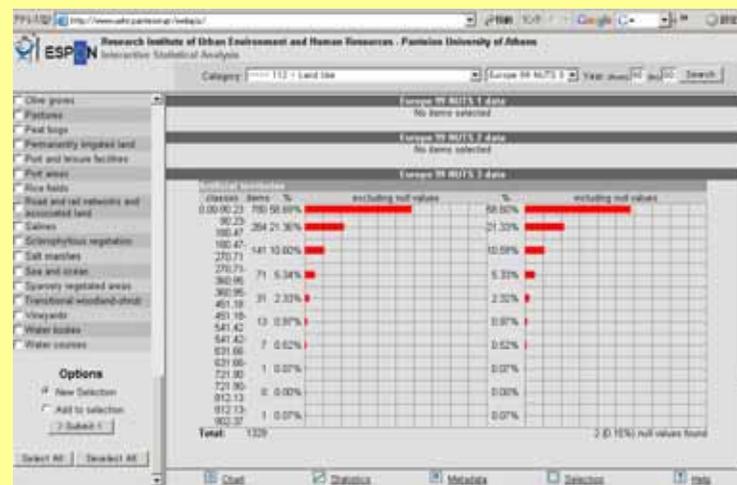
交通インフラの**バッファ検索**ができる。



「Interactive Statistical Analysis」の主な機能
18のカテゴリーからなる多様な指標の柱状図が作成できる。

各指標毎の最大値、最小値、平均値、分散、偏差等の**統計情報**が入手できる。

各指標毎の調査年度、データソース等の情報が入手できる。



指標 : 18のカテゴリーから選択。指標数はカテゴリー毎に異なる。

表示範囲: EU + 4ヶ国の29ヶ国の全域

分析単位: NUTS_0(国レベル)からNUT_3(県、州レベル)まで、指標や年度により異なる。

事例 -5 ESPON HyperAtlas (地域分析の支援ツール)

・対照地域と周辺地域の比較分析ツールがフリーでダウンロードできる

ESPON Hyper Atlas作成の基本理念

ある地域の政策影響の分析を行うには、周辺地域との比較が必要不可欠。

主な機能

18の指標(人口、GDP等)に対して、地域間の違いを地図で表現できる。

18の指標間の比率が計算でき、指標同士の組み合わせで新たな指標を作成できる。

設定された範囲における対象地域の「偏差」が計算でき、対象地域のおかれている状況が周辺と比較できる。

集計結果はレポートとして保存し、画像データなどの利用が可能。

指標 : 18指標

表示範囲: EU + 4ヶ国の29ヶ国から、大西洋側諸国など、
8段階のエリアから選択可能

分析単位: NUTS_0(国レベル)からNUT_3(県、州レベル)
までの5段階から選択可能

「偏差」の計算範囲: EU + 4ヶ国の29ヶ国から、隣接部まで
3段階に分けて選択可能



ダウンロードページ



メインウィンドウ



レポート作成例

事例 -2 総務省統計局 統計データ(地図情報)

・国勢調査の都道府県別、市区町村別分類図を公表。

・国土地理院発行の「数値地図25000(海岸線、行政界)」をベースに、H17年度国勢調査結果の29指標の分類図を作成。PDFファイルで公表。

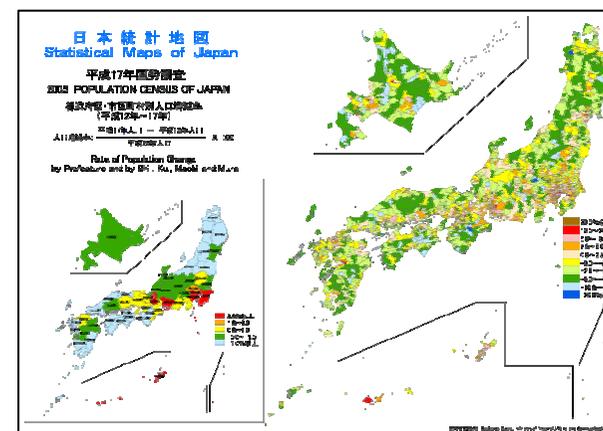
公開分類図一覧

都道府県・市町村別分類図

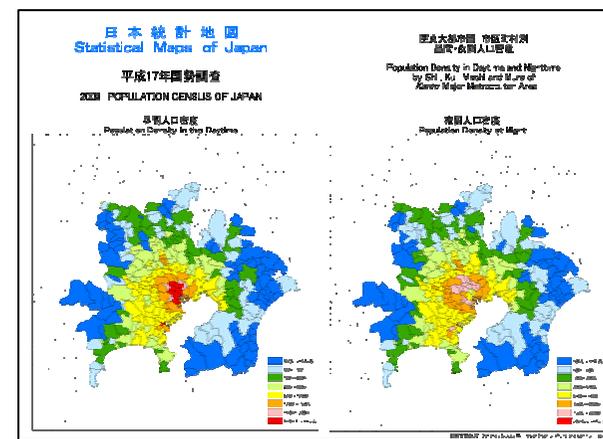
- ・人口増減率(平成12年～17年)
- ・人口性比
- ・15歳未満人口の割合
- ・65歳以上人口の割合
- ・一世帯当たり人員
- ・単独世帯の割合
- ・民営借家世帯の割合
- ・一人当たり住宅の延べ面積
- ・65歳以上単身世帯の割合
- ・25～39歳未満未婚率(男性)
- ・女性労働力率
- ・昼夜間人口比率
- ・第2次産業就業者の割合(従業地)
- ・人口密度(1km²当たり人口)
- ・平均年齢
- ・15～64歳人口の割合
- ・75歳以上人口の割合
- ・核家族世帯の割合
- ・持ち家世帯の割合
- ・一世帯当たり住宅の延べ面積
- ・65歳以上親族のいる世帯の割合
- ・外国人の割合
- ・25～39歳未満未婚率(女性)
- ・平均週間就業時間
- ・第1次産業就業者の割合(従業地)
- ・第3次産業就業者の割合(従業地)

大都市圏の市町村別分類図

- ・関東大都市圏市区町村別昼間・夜間人口密度
- ・中京大都市圏市区町村別昼間・夜間人口密度
- ・京阪神大都市圏市区町村別昼間・夜間人口密度



平成17年国勢調査 日本統計地図都道府県・市区町村別人口増減率(平成12年～17年)



平成17年国勢調査
関東大都市圏市区町村別昼間・夜間人口密度

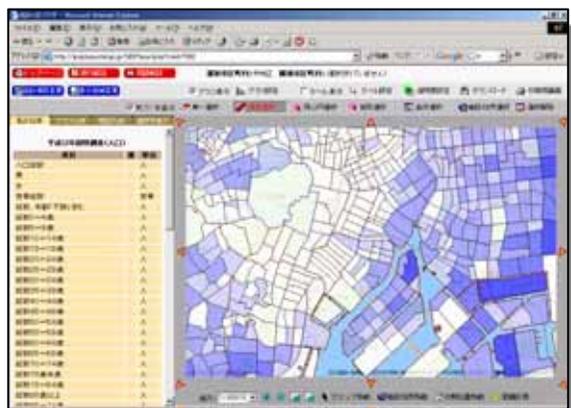
事例 -3 総務省統計局 統計GISプラザ

・Web上のGISで、**国勢調査と事業所・企業統計調査を活用した地域分類図**が作成できる。

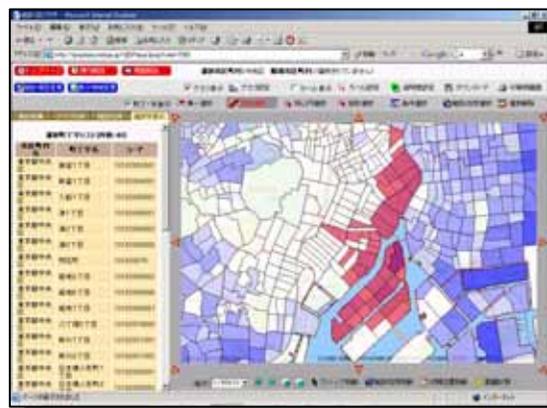
産業発掘戦略の一環として、新しいビジネスの開拓や商圈の設定、地域販売戦略等、**地域における企業活動等を支援することを目的としてサイトを構築。**

統計GISプラザの主な機能

国勢調査と事業所・企業統計調査に関する多様な**指標による分類図**が作成できる。
 数値地図25000(地名・公共施設)をベースに交通インフラ(鉄道、空港等)と分類図の重ね図が作成できる。
 指標毎に空間検索ができる。
 公共施設や駅等からの**バッファ検索**ができる。
 町丁目境界図の地形データ(シェイプファイル)、および国勢調査等の統計データ(TXTファイル)がダウンロードできる。(ただし、一度にダウンロードできるのは5市町村まで)



人口別分類図(東京都中央区)



人口による町丁目検索結果図
(東京都中央区で500人以上)



駅からの距離による町丁目検索結果図
(東京メトロ銀座駅から1km以内)

指標 : 平成12年国勢調査と平成13年事業所・企業統計調査における13カテゴリーの指標。

表示範囲: 日本全域

分析単位: 町丁目単位

事例 国土交通省国土地理院 地図情報

・数値地図および主題図等の一部の閲覧が可能。

数値地図

- ・1/2500および1/25000の数値地図情報が閲覧可能。

主題図

- ・土地条件図：斜面、平地、台地等といった分類を記載した風水害対策・地震防災のための主題図。
- ・都市圏活断層図：活断層の位置を記載した地震防災のための主題図。
- ・火山土地条件図：火口や岩脈などを記載した火山防災のため主題図。
- ・沿岸海域土地条件図：沿岸海域における地形・地質・利用現況等を記載した沿岸域の利用・保全のための主題図。
- ・地盤高図：平野部の1m毎の等高線や地形を記載した地盤沈下対策のための主題図。
- ・治水地形分類図：国が管理する河川流域の扇状地や自然堤防等を記載した治水対策のための主題図。

土地利用の状況調査

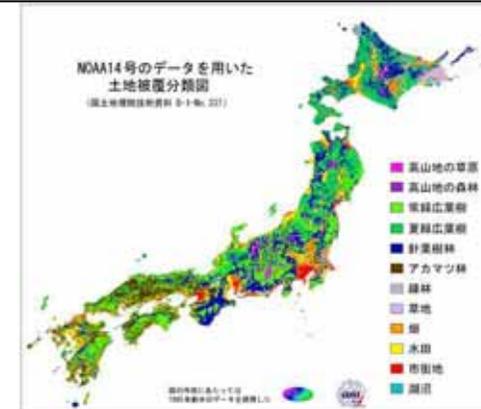
- ・国土環境モニタリング調査：国土の環境を継続的に把握、監視する調査。植生指標データのダウンロードが可能。



数値地図2500



土地条件図



植生指標データを用いた土地被覆分類図 17

国土形成計画[全国計画](素案)における「国土のモニタリング」

国土形成計画(素案)では、「国土のモニタリング」システムの必要性及び進め方について、以下の通り規定している。

国土形成計画(全国計画)に関する報告(素案)

国土審議会第23回計画部会(平成19年4月6日)

第4章 計画の効果的推進

第2節 国土情報の整備・利活用と計画のモニタリング

(国土計画のモニタリングと評価)

国土情報の整備・利活用は、経済社会活動に広く影響を与えるだけでなく、国土計画のマネジメントにも直接役立つものである。**国土形成計画の関係主体への指針性を向上させるため、策定、推進、評価のプロセスを通じて効率的、効果的な進行管理を行う「国土計画のマネジメントサイクル」の確立が求められているが**、このためには、**国土をめぐる様々な情報を常時収集、整理し、総合的・体系的に分析する計画のモニタリングが必要となる。** 計画のモニタリングの対象としては、国土をめぐる経済社会情勢、土地利用、自然環境、国土基盤ストックの状況等様々な情報が考えられる。**今後のモニタリングの実施に向けて、地理情報システムの活用による効率的・効果的な運用等、具体的な実施手順や体制のあり方等を検討する。また、国民生活の改善に及ぼす効果や満足度が適切に把握できるようなモニタリング指標の設定について検討する。**

また、モニタリングの結果も踏まえて、国土形成計画法第7条の規定に基づき、全国計画に係る政策の評価を適切に実施し、その結果に応じて必要な措置を行う。

国土計画の
マネジメント
サイクルの
確立



計画のモニタリング

国土をめぐる様々な情報の
・常時収集、整理、
・総合的、体系的分析



必要な検討内容

具体的な実施手順
や体制のあり方

効果や満足度を適切
に把握できるモニタ
リング指標の設定

「国土のモニタリング」の目的

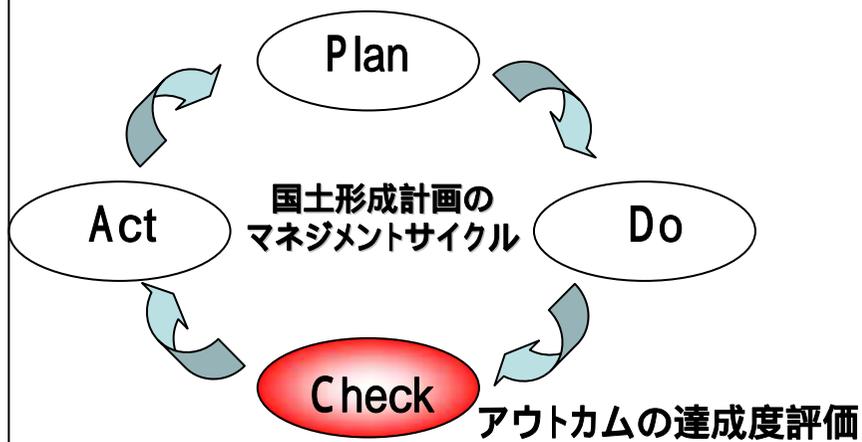
国土形成計画の関係主体への指針性を向上させるため、策定、推進、評価のプロセスを通じて効率的、効果的な進行管理を行う「国土計画のマネジメントサイクル」の確立が求められているが、このためには、国土をめぐる様々な情報を常時収集、整理し、総合的・体系的に分析する計画のモニタリングが必要となる。

「国土のモニタリング」は、その必要性に対応した2つの目的を持つ。

国土形成計画のモニタリング

国土計画のマネジメントサイクルの(C)の役割

計画目標(アウトカム目標)の達成度を継続的に評価し、政策の妥当性・有効性を把握する。

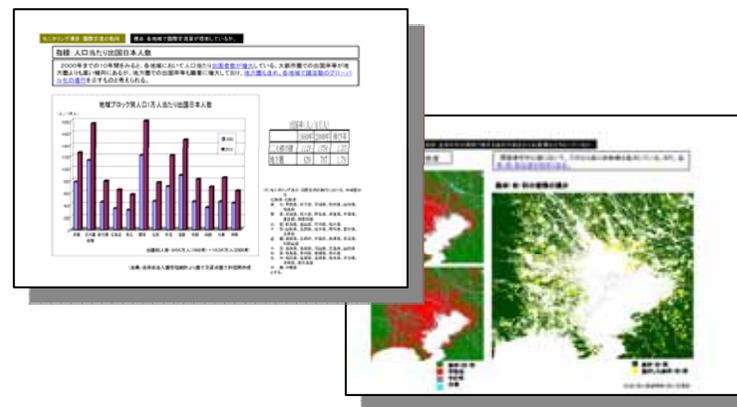


(国土形成計画法第7条の規定に基づく政策評価)

国土をめぐる様々な情報のモニタリング

国土をめぐる様々な情報の収集・整理・統合
(経済社会情勢、土地利用、自然環境、国土基盤ストックの状況等)

国土計画のマネジメントサイクルにおいて、AやPの段階における「新たな計画課題」を発見する。



3. 「国土のモニタリング」における検討課題

国土形成計画(全国計画)に関する報告(素案)に示された今後の「国土のモニタリング」の実施に向けた検討課題を、2つの目的に対応させながら具体的に検討する。

モニタリング指標の検討

国民生活の改善に及ぼす効果や満足度が適切に把握できるようなモニタリング指標のあり方について検討

類似事例

- ・政策評価 / 事業評価 / 重点計画進捗管理
- ・世論調査 / 暮らしの改革指数
- ・海外事例(欧州ESPON) 等

国土形成計画のモニタリング

共通する検討課題

- ・わかりやすさ
- ・国民の参画と協働
- ・関係機関との連携と役割分担
- ・データの継続性、連続性の確保 等

モニタリング実施手順・実施体制の検討

国土をめぐる経済社会情勢、土地利用、自然環境、国土基盤ストックの状況等様々な情報について、地理情報システムの活用による効率的・効果的な運用等、新たな国土形成計画にふさわしい、具体的な実施手順や体制のあり方について検討

関連事例

- ・総務省統計局、
- ・国土地理院 電子国土等

国土をめぐる様々な情報のモニタリング

新たな「国土のモニタリング」システムの検討